

# ライブラリアンは営業マン

コミュニケーションから  
ニーズを掘り起こせ

# 悩めるライブラリアン

- 講習会を開いても、参加者が集まらない
- ターゲットが絞れていない
- 広報が不十分?
- マーケティングができていない
- 参加者のレベルの差に悩む
- 利用者のニーズが掴めない
- 人的資源が不足

# ノックを待つライブラリアン

## 待ちの姿勢



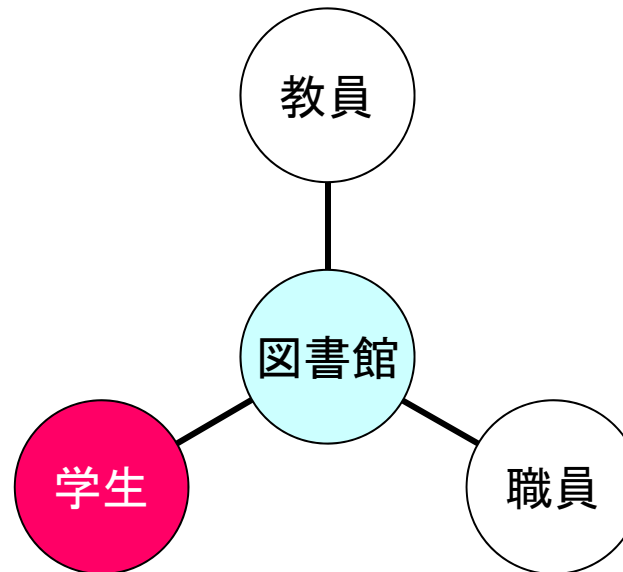
外から見ると  
何をやっているのか  
わからない

図書館内で  
仕事が完結している

自分たちを客観視する必要がある!?

# そうだ、外に出てやってみよう!! 1

- 学生へのアプローチ
    - 学生の行動観察
    - 人が集まる場所に出向いてパフォーマンス
- ストリート・ライブラリアン??

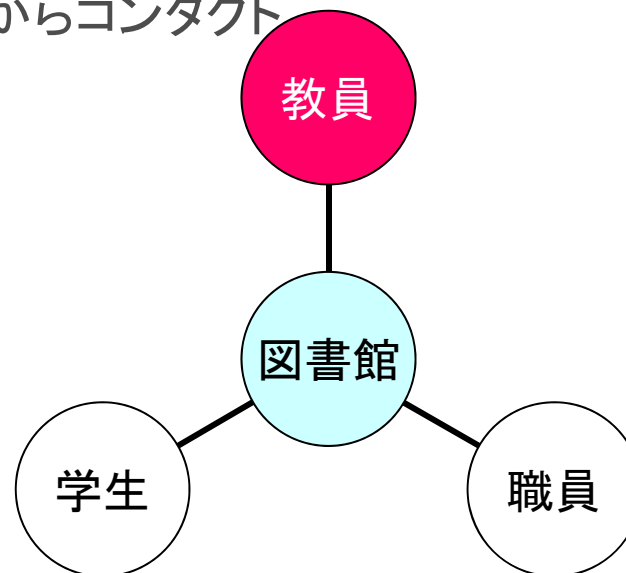


# そうだ、外に出てやってみよう!! 2

- 教員へのアプローチ

- 研究室訪問(with サービス案内資料)

- 館長・図書委員の先生から声かけ
    - 委員会でお世話になった顔見知りの先生へ
    - 出身学部・ゼミの先生からコンタクト

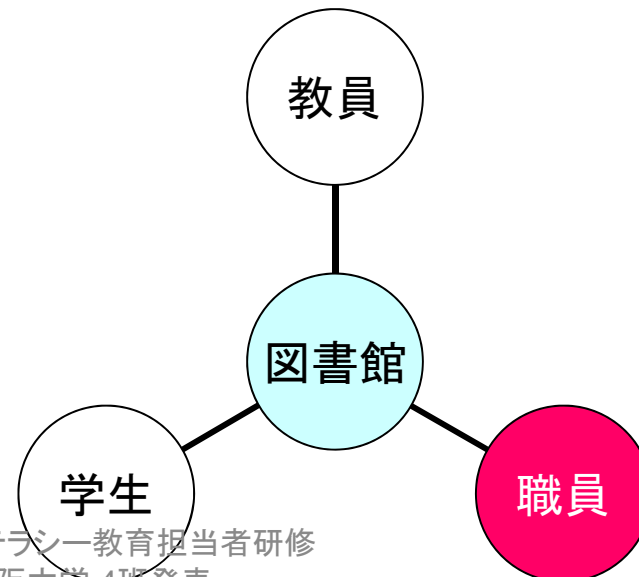


# そうだ、外に出てやってみよう!! 3


-学内ネットワークをフル活用-

- 職員へのアプローチ

- 協力してくれそうな先生を推薦(教務系)
- 同期の職員に声かけ
- 留学生ガイダンス担当職員と協力
- 新人職員研修に図書館ガイダンスを盛り込んでもらう



# ツールを使っても 温もりを感じるコミュニケーション

- You Tubeを使って講習会
- My Library のマイ・ライブラリアン 
  - 「私にだけ答えてくれる!!」
- Web上でも対面レファレンス



これって 次世代サブジェクト・ライブラリアン??

# 目標に向かって明日からできること

- 今日の議論を同僚に話す
  - 日報、Twitter、ブログ
- 共感してもらう
  - アゲアゲ=3のモチベーション
- 仲間を増やす
  - 草の根運動、“Yes, we can!!”
- 目標を共有する



「書を捨てよ 町へ出よう」

By 寺山修司